

令和6年度第1回名寄市地域公共交通活性化協議会

日 時：令和6年5月31日（金）

13時30分～14時25分

場 所：駅前交流プラザよろーな中会議室

- 1 開 会
- 2 会長挨拶
- 3 報告事項

(1) 市外連絡バス（地域間幹線系統等）の状況について 資料1

→事務局より資料を用いて説明

他自治体と連携して補助を行い運行をしている。補助額は増加傾向にある。通院、通学など地域間を移動する必要に応じた規模で運行していく必要がある。（事務局）

(2) 市内路線・市街地間・郊外デマンドバスの状況について 資料2 資料3

→事務局より資料を用いて説明

市外連絡バス同様に補助額は増加傾向にある。しかし、市内路線は運行距離が短いことから、補助額の増加率は低くなっている。利用者数も減少している。（事務局）

【報告事項1、2に対する質疑応答】

・利用者のニーズ調査を実施し、重複している路線の最適化や重要なポイントを見極め、利用者の利便性を極力損なわない形での補助金の削減が必要なのではないか。（委員）

・利用者のニーズ調査や市民へのヒアリングは、運行事業者や路線最適化の判断に必要な情報となる。市でヒアリングや調査を実施することは可能なのか。（委員）

→有効的な実施方法を検討する必要がある（事務局）

→実施方法はアンケート形式だけではなく、市内各団体への意見の聞き取りもよいのではないか。（委員）

4 協議事項

(1) 名寄市公共交通 見直し検討について

・市外連絡バスは、運転手不足等により減便されている状況もあるが、他自治体と連携した路線となっているため、自治体間で状況を確認しながら慎重に最適化を進める必要がある。

市内路線は、コミュニティバス減便に対応し、AI オンデマンドバスのるーとの運行が開始した。市民にとっては、交通手段の選択肢が増えて利便性が高くなっている一方で、路線の重複および補助額が二重にかかっている状況である。（事務局）

→重複している市内路線の状況や最適化を行える方法について事務局で情報収集を行い、次回の協議会で提示してほしい。（会長）

・AI オンデマンドバスのるーとが名寄地区で運行しているが、風連地区、智恵文地区でも現在の路線を見直し、のるーと同様の運行事業を検討が必要ではないか。再編案を次回協議会で提示してほしい。（会長）

- 5 その他
- 6 閉 会